

H21年度 第11回山梨県臨床工学技士会通常総会議事録

日時:平成21年5月31日(日) 午前9時30分～午前10時10分まで

場所:甲府市増坪町366 市立甲府病院 2F 第一会議室

会員総数:94名

出席会員数:78名(うち委任状出席41名)

本会定款第4章 第24条に定める定数に達したので、本総会は適正に成立した。

開会の辞:石井副会長より開会のあいさつが行われた。

会長挨拶:会費未納金について、着実に進行中ではあるが、遅れていることについて謝罪があった。

今後とも技士会活動にご理解とご協力をお願いしたいと挨拶があった。

議長団選出:議長団として県立中央病院 竹川氏、甲府共立病院 深沢氏の両名を選出した。

1. 平成20年度活動報告が高橋事務局長より、平成20年度決算報告が横森会計より、平成20年度会計監査報告が白石会計監査より行われた。議長が本報告の承認を諮った所、過半数以上の拍手により承認された。

2. 議案について

会長より議案の説明、質疑応答が行われた。

1)一般社団法人への移行について

今後一般社団法人への移行、公益社団法人へ移行が必要な旨が説明された。まず、一般社団法人への移行は、名称使用の独占と臨床工学技士の地位の向上が目的で、日本臨床工学技士会の指針にもなっている。また、法人化には、定款の登録費用6万円程度、登記に5万円程度の費用が必要である。将来的には公益社団法人への移行を目標とし、税理士、会計士などの経費が必要な事が説明された。

質疑:公益社団法人まで移行する必要はないのではないか。

応答:やはり臨床工学技士の地位と名誉の向上には今後必要な事で、まずは、都道府県公益社団法人を目指す事とする。

2)会費の引き上げ、自動引き落としについて

一般社団法人、公益社団法人への移行、また、今後、勉強会やセミナーを開催するに当たり、メーカー共催せず、技士会単独で開催出来る様に会費を現行の3,000円から5,000円への引き上げをお願いしたい。また、合わせて、徴収率と作業効率の有効性を考え、会費の振込、引き落としをお願いしたい。引き落としについては、後日、引き落としの手続き用紙を送付するが、口座は、山梨中央銀行となり、口座が無い場合は、事務局に確認して頂きたい。

質疑:会費の引き上げに伴い、平成21年度の決算報告と予算計画(案)で変わりが無く、事務消耗品、理事会費などが上がっており、収支の数合わせの様なので詳細について説明してほしい。

応答:法人化へ向けての貯蓄の必要があり、事務用品など今までは事務局の持ち出し、理事会も持ち寄りで行っていた。事務費が有料化になり、プリンターの更新などの理由で、今後は技士会の経費として計上をお願いしたい。また、収入として、未納分の会費の徴収について、未納者は定款に基づき脱退となるが、入会中の会費は再度通達し徴収する。今回は不備な点があり申し訳なか

ったが今後、決算報告、予算計画は詳細を詳しく記載する事とする。

3)理事辞任について

富士吉田市立病院の稲垣理事が山梨県臨床工学技士会、日本臨床工学技士会の脱会に伴い、理事を辞任した。後任として郡内ブロックより1名選出したいが、理事会にて選任を行いたい。

質疑:選出に当たり、会員の信任、不信任の確認が必要ではないか。

応答:本来なら、総会までに選出し、信任を得たい所であったが、時間が無く間に合わなかった。会場より立候補、推薦があるなら選出して頂きたいが、いない様なら理事会に一任して頂きたい。会場から立候補、推薦がいなかったなので、次回、理事会にて選出し、理事会議事録にて報告する。

4)甲信越ブロック連絡協議会について

甲信越ブロック協議会を立ち上げ、2009年2月28日、第1回のブロック会議が行われた。年3回ブロック会議を行い、会長、副会長、事務局長が出席する。平成22年度より甲信越ブロック勉強会、学術集会を計画中である。

議長が本議案の承認を諮った所、過半数以上の拍手により承認された。

3. 平成21年度予算計画案について

横森会計より平成21年度予算計画案について説明された。議長が本議案の承認を諮った所、過半数の拍手により承認された。

4. その他

1)山梨県臨床工学技士会ホームページについて

広報・編集担当佐野理事より、山梨県臨床工学技士会ホームページを更新した報告がされた。新ホームページは議事録や勉強会、セミナーの案内、掲示板などの情報が掲載されている。今後は入会、退会の手続きも掲載する。意見や要望など、事務局へメールか掲示板を活用してほしい。

質疑:ホームページ広告の協賛を集ってもよいのではないか。

応答:本年度より賛助会員の募集を行い、5社の協力が得られた。賛助会員、会誌の広告でも協力を頂いたメーカーは、会誌に名簿記載しているので、広告に関しては、今後も現状の形式で対応していく。

議長が本報告の承認を諮った所、過半数以上の拍手により承認された。

以上をもって、本総会の報告事項と議事を終了し、議長団解任を宣言し閉会した。

閉会の辞:藤巻副会長より閉会のあいさつが行われた。

平成21年5月31日

議事録記録 石井 仁士